

# 民報あばしり

NO.997

2014.11.30

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三三・四四五八  
F四三三・四四五七



## 「集団的自衛権撤回を求める」集会を開催 「戦争いやだ」の声広げよう

11月24日、平和憲法を守る網走の会は、「集団的自衛権閣議決定の撤回を求める網走集会」を開催しました。

7月1日以降、街頭宣伝や地域署名等の行動を続けてきた同会は、「総選挙では集団的自衛権や特定秘密保護法を争点にしない」と言う「争点



集団的自衛権の閣議決定撤回を求める網走集会



22日、大田原高昭北海道大学名誉教授を招き「安倍政権の農業・農協改革を問う」講演

### TPP参加断念させよう！ 農業・農協改革を問う

「人を殺さない、人に殺されない」という現憲法は素晴らしい。憲法を深く学ぶことで、自分の言葉で話せるようになるのでは」等、積極的な意見が出されました。

### いよいよ東奔西走？ 敏勝

国会、解散から1週間。今回も政党間の集合離散と野合が始まっています。特に民主党と維新の党の共通政策は、総選挙の大争点の消費増税増税、集団的自衛権行使容認の閣議決定の具体化立法推進、原発再稼働、TPP、沖縄の米軍新基地建設などすべて抜け落ちたものです。共通政策でも、派遣労働の拡大や社会保障における国の役割を否定し地方に押し付けるなど、安倍政権と軌を一にしています。これを見ても、安倍政権と対決の足場を持たない両党の姿勢が鮮明です。これでは対決どころか政権すり寄りそのものでは！？

### 菊地ひろし まっしぐら！

22日、川向地域で日本共産党のつどいを開催しました。要望や意見を市政や国政に活かす、実現に向けて共に考えよう。そして日本共産党のこともっと知って欲しいとの企画でした。「安倍首相は何を考えているのかわからん」、「共産党はもっと面白いこともやりながら、頑張らなければだめだ」「年寄りには除雪が大変、角々が残されて困る」「介護保険が使いつらくなって大変」など最初緊張していた方からも話が出始めて、時間があつというまに過ぎてしまいました。私は父の戦争体験も含め、終戦の前年に出された「少年兵募集」のポスターを見てもらいながら、戦争する国づくり「反対の声をと話しました。

### 松浦奮戦モロ

「農業・農協改革を問う」の大田原講演を聞きました。規制改革会議の「農業改革に関する意見」というのがありますが、それを書いたのは、企業経営者など農業関係者はいません。驚くのは、現場の意見をほとんど聞いていないことです。それなのに、農業委員会を選挙をやめて首長が選任にする。農業協同組合の見直し、中央会制度の廃止、全農の株式会社化など書かれています。しかし、戦後70年、農協を中心に寒冷地にあった作物など、あらゆる困難を乗り越え、今日のオホーツク農業を築いてきた。ここに確信を持ち全道の農業者が、声を上げなければならぬと言っていました。納得するお話でした。

### 流水

「平和憲法を守る網走の会」の活動をしている友人と会い話す機会があった。▼この1年「秘密保護法と人権」「9条を語りつくす」「憲法を許さなために」といったタイトルで学習会や集会を開き、毎月のように高校前で高校生に「集団的自衛権って？」「憲法が変わったらどうなるの？」といったパンフレットを配り、街頭や地域に行つて署名集め、と矢継ぎ早や。また「秘密保護法撤回を求める」請願や「戦争をする国に反対する意見書を求める」請願（紹介議員は共産党市議）を網走市議会に出している。▼この国の先行きに恐怖すら感じ「何かせすにはいられない」という思いで、この会に人々が結集しての1年▼デモや集会はテレビにもニュースにも映らないが、網走だけでなく全国津々浦々でたくさん市民がこうして活動しているのだ、と「平和憲法を守る網走の会」をみていると実感する。▼実際、原発に反対する定例の抗議集会やデモは全国279か所です。毎週毎月開かれ、「秘密保護法に反対する意見書」は全国の127か所の自治体からあげられている。▼「伝家の宝刀」と、自分たちだけ準備整え、今やらなければ支持率は落ち込むばかりと、党利党略での解散総選挙は国民の怒りに追い詰められての総選挙でもある。▼とはいえ過半数の議席をとればあらゆる分野での暴走が加速する。▼私たちにあって現政権の暴走を食い止めるチャンスでもある。チャンスは女神に後髪はない！あれ？前髪だけ（た）